

あみまちを食べよう学校給食事業（レンコンの日）授業参加報告

茨城県阿見町との連携協定に基づく食育授業の3回目は、今年度最後の回として、学校給食レンコンの日にあわせて「レンコン」をテーマに、阿見町立阿見第一小学校の5年生59名を対象に行われました。本学からは教員1名（久保山）と農学部生物生産科学科4年の学生2名（高間梨央さん・中村春菜さん）、社会連携コーディネーター1名（深谷）が参加しました。

授業は5年生の元気な挨拶から始まり、はじめに、本学の高間さんと中村さんから、レンコンはポリフェノール含量が多いことや、乳酸菌との摂取で花粉症への効果が期待されていることなどの説明があり、本学阿見キャンパス内でもレンコンを栽培・収穫し、育種学の研究をしていることの話がありました。その後、クイズ形式でレンコンは茎の部分であることや、蓮とレンコンの違いなどを学び、児童たちは率先して手を挙げ、元気に答えていました。

次に、栄養教諭の高安さんから、茨城県が全国1位の農作物の質問があり、レンコンも1位であることや、その栄養について学びました。児童の家庭のレンコン料理の紹介もあり、いろいろな食べ方が発表されました。

最後に、地元生産農家の野口さんから、実物の大きなレンコンを持参いただき、レンコンを見ながら説明がありました。レンコンの成長過程や、年間栽培スケジュール、栽培の仕方などを教えていただき、児童たちは実物のレンコンの大きさに驚きながら、楽しそうに質問をしていました。

45分間の授業はあっという間に過ぎ、その後の給食の時間には、レンコンとひじきのサラダを実食し、レンコンの食感や歯ごたえなどを楽しそうに話し合っていました。

